



Craftsmanship 1

一枚一枚に、技がある、味がある。
手描きの絵付け

多様な色・柄のバリエーションを持つタイル。中でも、美濃焼の技法を活かし、手描きで絵付けしたタイルは独特の味がある表情を醸します。たとえば多治見市の小田井窯では、熟練の職人が一枚一枚に筆を用いてキャンバスに絵を描くように細やかに絵付け。手描きでありながら、卓越した技で、均一の絵柄をタイルに。職人の絵心が注がれた、味わいのある意匠を表すことができます。和の趣からポップな彩りまで、空間に雰囲気ある手描きのアクセントを。美濃焼の陶器づくりの技が息づく、伝統と新感覚が融合するタイルの表現方法です。



Craftsmanship 2

手描きのような味わいを、タイルに映し出す。
銅版転写技法

日本最大の陶磁器生産拠点である東美濃地域。ここには数多くの和食器、洋食器を生産するメーカーが存在します。茶碗など曲線のある器に細やかな模様を描くのは、明治時代に完成された銅版転写技法によるもの。柄を染料で印刷した薄い和紙の転写紙を、水を使って素地に貼り付けし、和紙をはがし取って絵付けする。手描きのような絵の具の濃淡や細かな柄も表現でき、側面やカーブの部分にも絵柄を写すことができます。この地域の銅版メーカーは、食器づくりのために蓄積した銅版を大量にストック。器を彩った細やかな絵柄を、タイルにも描くことができます。



Craftsmanship 3

入手困難なタイルも、違和感なくリペアできる。
補修タイル復元技術

タイルは陶磁器で作られた建築装飾。酸やアルカリなどの化学的作用や、火熱や摩耗など物理的作用にも安定した機能を有し、耐久性が強く汚れも落としやすいメンテナンス性に優れた特徴があります。しかし、万が一破損した場合には、小ロットでも補修することができます。たとえば、過去に取り付けたタイルが製造中止などで入手できなくなった場合でも、できるだけ近い色、面状で製造することが可能。職人の技で、既存のタイルとの違和感が生じないように調整します。1枚でも補修できますので、お気軽にお問い合わせください。

※写真はイメージです。

復元には完成イメージ又は、他の全体がわかるサンプルが必要です。